

# 福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業 【副題】いま動くしかない！居場所と出番づくり 実行団体報告会



## 休眠預金等活用事業の制度概要と役割



事業部 和田泰一  
2022年2月18日



- 休眠預金制度の概要と役割
- 変化（インパクト）を測る
- 九州地域にて



□**休眠預金制度の制度と役割**

□変化（インパクト）を測る

□九州地域にて

# 休眠預金等活用事業制度誕生まで



- 2012年 休眠口座国民会議設立  
休眠口座を社会のために有意義に活用できる案を考え、法律化することを目的に、  
民間有志が研究、普及啓発活動を展開
- 2014年1月21日（日経新聞見出し）  
「休眠預金」を公的事業に 与党が議員立法へ銀行も容認姿勢、使い道は定まらず
- 2014年4月 「休眠預金活用推進 議員連盟」設立
- 2016年12月 「休眠預金等活用法」が成立
- 2017年1月 休眠口座国民会議解散、休眠預金「未来構想」プラットフォーム
- 2018年1月 休眠預金等活用法施行
- 2019年1月 JANPIAが指定活用団体に指定される

# 外国での休眠預金活用状況



|        |                                                                                                                                                      |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アイルランド | 2003年「休眠預金基金」設立                                                                                                                                      |
| イギリス   | 2006年財務相が休眠預金を慈善事業に活用する方針を予算演説時に表明。<br>2008年「請求基金」（休眠口座の預金管理の基金）の法案整備。<br>2010年協同組合系金融総合グループが請求基金管理機関に指定され休眠口座が移管された。<br>2012年Big Society Capital設立。 |
| 韓国     | 2004年「休眠口座還給手続き改善法案」、「休眠口座を活用して福祉財団を設立する法案」提起。<br>2007年「休眠預金管理財団設立などに関する法律」公布。<br>2008年休眠口座管理財団設立。<br>2009年名称変更「微笑金融中央財団」                            |
| ドイツ    | 2021年ドイツにて法案整備の動き。                                                                                                                                   |

## 「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律(平成28年法律第101号)」が、2018（平成30）年1月1日に全面施行 ※5年後に見直し予定

### (背景)

日本は人口減少、高齢化の進展等に起因する社会の諸課題に直面  
行政の既存施策では十分な対応が困難な課題がある

これらの解決に資するため、10年以上入出金が確認できない休眠預金等について、預金者等に払い戻す努力を尽くした上で、民間公益活動の促進に活用



# 休眠預金で目指す「誰ひとり取り残さない持続可能な社会」



## ＜休眠預金活用の助成事業で優先的に解決すべき社会の諸課題＞

### ① 子ども及び若者の支援に係る活動

- ・ 経済的困窮など、家庭内に問題を抱える子どもの支援
- ・ 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
- ・ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援

### ② 日常生活または社会生活を営む上での困難を有する者の支援に関する活動

- ・ 働くことが困難な人への支援
- ・ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援

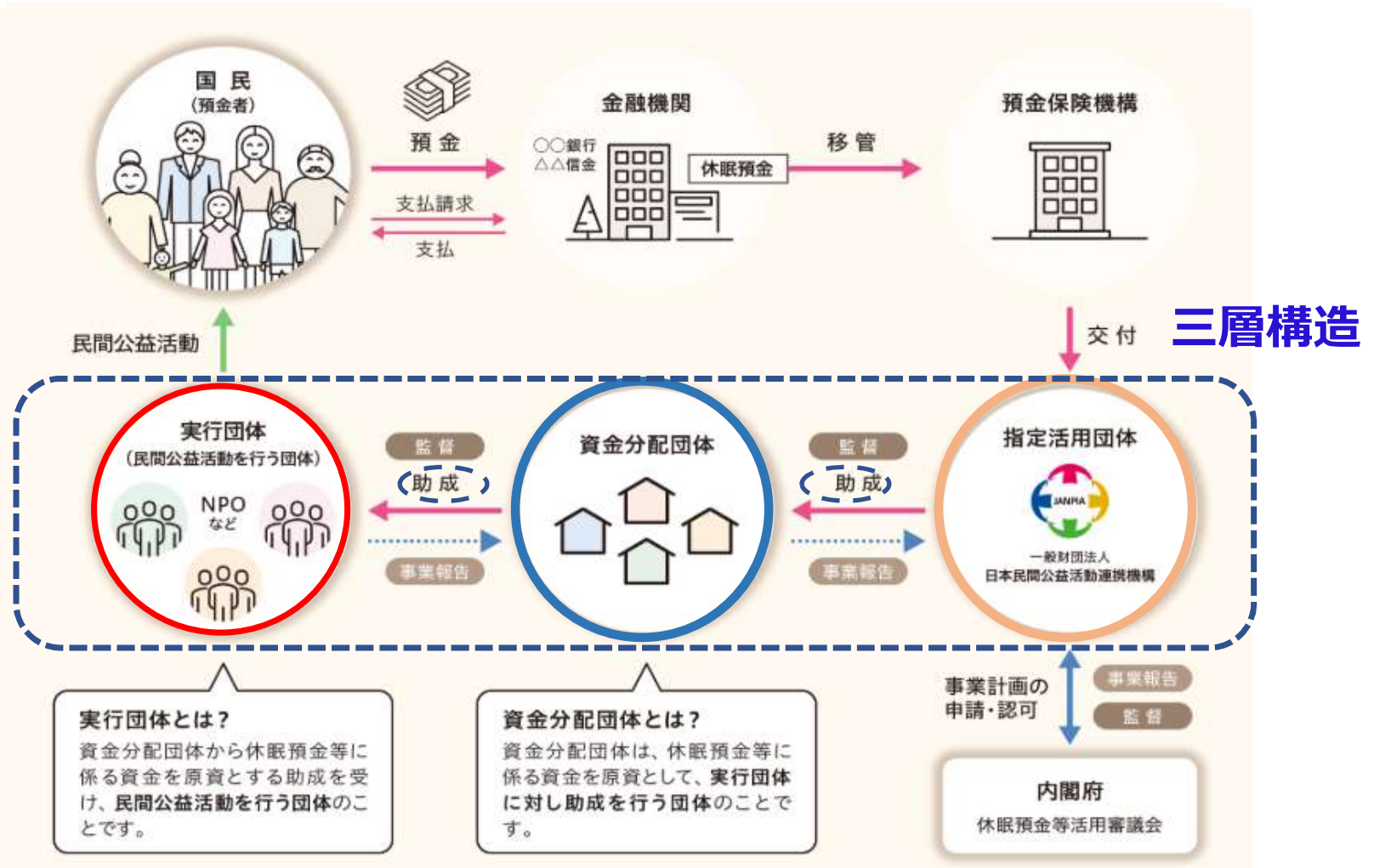
### ③ 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に関する活動

- ・ 地域の働く場づくりの支援や地域活性化などの課題解決に向けた取組の支援
- ・ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

- 
- 共通項は、社会的弱者と脆弱な地域の課題解決
  - 特にコロナ禍で状況はさらに深刻化
  - SDGsとの親和性高く、これらの課題解決を通じてSDGsに貢献



# 制度の概要と休眠預金等活用の流れ



• 資金分配団体、実行団体：  
JANPIAが規程するガバナンス・コンプライアンス体制等、適切に業務を遂行できる団体（社団・財団・NPO・株式会社等）

# JANPIAが実施している助成



## 通常枠（最長3年間）

- 2019年度助成
- 2020年度助成
- 2021年度助成

## 新型コロナウイルス対応支援助成（最長1年間）

- 緊急支援枠助成（2020年5月から公募開始）
- 支援枠助成（随時募集中）

# 通常枠：4つの助成事業（草の根NPOから社会的企業までを対象とする事業ポートフォリオ）と基盤強化支援事業



## ●● 4つの助成事業 ●●（通常型は最長3年間、助成額は目安）

### ■ 草の根活動支援事業

- 全国各地で地域に根差して従来から活動を展開している活動の拡大、成果の向上を目指す。
- 地域や分野ごとの多様性に応じて本制度が十分に活用されるように、全国枠と地域枠に分けて選定。

● 各団体の助成額：最大1億円  
● 期間：最大3年間 ● 選定団体数の目安：10～20団体

### ■ イノベーション企画支援事業

- 従来の枠を超えた革新的な手法の開発、普及・実装に挑戦することにより社会における大きな変革（ソーシャル・イノベーション）の創出を目指す（例：技術を活用した新手法、コレクティブ・インパクトの推進等）。
- 社会的インパクトの最大化を重視。

● 各団体の助成額：最大2億円  
● 期間：最大3年間 ● 選定団体数の目安：4～6団体

### ■ ソーシャルビジネス形成支援事業

- 革新的事業で社会の諸課題の解決を図るビジネスモデルの創出と推進を目指す。
- 社会的インパクトと収益性を両立する事業のモデルの確立を重視。

● 各団体の助成額：最大2億円  
● 期間：最大3年間 ● 選定団体数の目安：1～3団体

### ■ 災害支援事業

- 大規模な自然災害等により、長期にわたり困難を強いられる地域とその住民に対する支援活動を実施するNPO等を支援する団体を助成。

※災害支援事業は3つのカテゴリを設定。  
詳細は公募要領を参照。

● 各団体の助成額：最大2億円  
● 期間：最大3年間 ● 選定団体数の目安：1～3団体

## + 基盤強化支援事業

資金分配団体のプログラム・オフィサー（PO）の確保・育成、社会インパクト評価の実施支援、ガバナンス・コンプライアンス基盤整備支援、企業・金融機関等とのマッチング支援 など

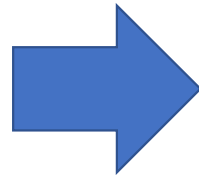
# 数字でみる休眠預金活用事業の全体像



## 実行団体の累計数

2019年4月時点

0<sub>団体</sub>



2020年12月時点

370<sub>団体</sub>

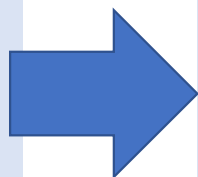
# 数字でみる休眠預金活用事業の全体像



## 実行団体の累計数

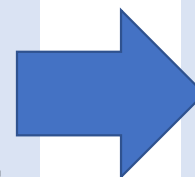
2019年4月時点

0 団体



2020年12月時点

370 団体



2022年1月24日現在

613 団体

|      |       |
|------|-------|
| 通常枠  | 237団体 |
| コ口ナ枠 | 376団体 |

(2022年1月24日現在)



# 数字でみる休眠預金活用事業の全体像

## ■資金分配団体による助成事業数（累計）

**96事業**

2019年度通常枠 24事業  
2020年度緊急支援枠 20事業  
2020年度通常枠 20事業  
2020年度〈随時〉 16事業  
2021年度通常枠〈第1回〉 11事業  
2021年度コロナ対応支援枠 5事業

## ■助成予定総額

**約126.9億円**

2019年度通常枠 約29.8億円  
2020年通常枠 約27.9億円  
2020年度緊急支援枠 約15.9億円  
2020年度緊急支援枠〈随時〉 約20.9億円  
2019年度通常枠〈20年度追加助成〉 約3.5億円  
2021年度通常枠〈第1回〉 約18.3億円  
2021年度コロナ対応支援枠 約10.6億円

## ■資金分配団体総数 （コンソーシアム構成団体含む延べ団体数）

**143団体**

### 資金分配団体94団体 +コンソーシアム構成団体49団体

2019年度通常枠 22団体+4コンソーシアム構成団体  
2020年度緊急支援枠 20団体+8コンソーシアム構成団体  
2020年度通常枠 20団体+11コンソーシアム構成団体  
2020年度緊急支援枠〈随時〉 16団体+11コンソーシアム構成団体  
2021年度通常枠〈第1回〉 11団体+13コンソーシアム構成団体  
2021年度コロナ対応支援枠 5団体+2コンソーシアム構成団体

## ■実行団体数（累計）

**613団体**

2019年度通常枠 142団体  
2020年度緊急支援枠 229団体  
2020年度通常枠 95団体  
2020年度緊急支援枠〈随時〉 130団体  
2021年度通常枠〈第1回〉 公募準備中  
2021年度コロナ対応支援枠 17団体 公募・選定中

複数事業採択を除く、  
資金分配団体実数

**83団体**

資金分配団体54団体  
コンソーシアム構成団体29団体

（2022年1月24日現在）

# 参考：これまでの資金分配団体の採択状況

(2022年1月24日現在)



| 年度   | 助成事業       |                    | 公募期間・締め切り              | 申請団体数<br>(事業数)           | 採択団体数/事業<br>数(選定日)    | 助成総額(予算)      |                                 | 実行団体数・選定状況                   |
|------|------------|--------------------|------------------------|--------------------------|-----------------------|---------------|---------------------------------|------------------------------|
| 2019 | 通常枠        |                    | 2019年6月3日～7月31日        | 49団体<br>(67事業)           | 22団体/24事業<br>(11月29日) | 29.8億円 (30億円) |                                 | 501団体申請➡142実行団<br>体を選定、事業展開中 |
| 2020 | 通常枠        |                    | 2020年6月1日～7月27日        | 42団体<br>(43事業)           | 20事業/20団体<br>(10月7日)  | 28億円 (33億円)   |                                 | 285団体申請➡95団体を<br>選定、事業展開中    |
|      | コロナ<br>枠   | 初回                 | 2020年5月27日～6月12日       | 42団体<br>(42事業)           | 20団体/20事業<br>(7月17日)  | 16億円          | コロナ支援枠<br>36.6億円<br>計(40<br>億円) | 621団体申請➡229団体を<br>選定、事業展開中   |
|      |            | 随時募集1回目            | 2020年9月末               | 5団体<br>(5事業)             | 3団体/3事業<br>(11月2日)    | 3.3億円         |                                 | 45団体申請➡22団体選<br>定、事業展開中      |
|      |            | 随時募集2回目            | 2020年12月末              | 4団体<br>(4事業)             | 2団体/2事業<br>(2月2日)     | 1.7億円         |                                 | 34団体申請➡15団体選<br>定、事業展開中      |
|      |            | 随時募集3回目            | 2021年1月末               | 18団体<br>(18事業)           | 11団体/11事業<br>(2月25日)  | 15.6億円        |                                 | 164団体申請➡93団体選<br>定、事業展開中     |
|      |            | 2019年通常枠<br>追加支援   | —                      | 22団体中18団体から申出を受け全<br>件助成 |                       | 3.5億円 (10億円)  |                                 | 助成済                          |
| 2021 | 通常枠        | 1回目                | 2021年6月1日<br>～7月27日    | 31団体<br>(33事業)           | 11団体/11事業<br>(9月17日)  | 18.3億円        | (36億円)                          | 契約手続き中                       |
|      |            | 2回目                | 2020年10月25<br>日～11月30日 | 公募中                      |                       |               |                                 |                              |
|      | コロナ<br>支援枠 | 1～5回目              | ～11月20日                | 13団体<br>(13事業)           | 5団体/5事業               | 10.63億円       | (40億円)                          | 審査中・公募準備中                    |
|      |            | 1月17日まで公募実施。現在審査中。 |                        |                          |                       |               |                                 | —                            |

# 資金分配団体の組織形態



(データは2021年9月21日現在)

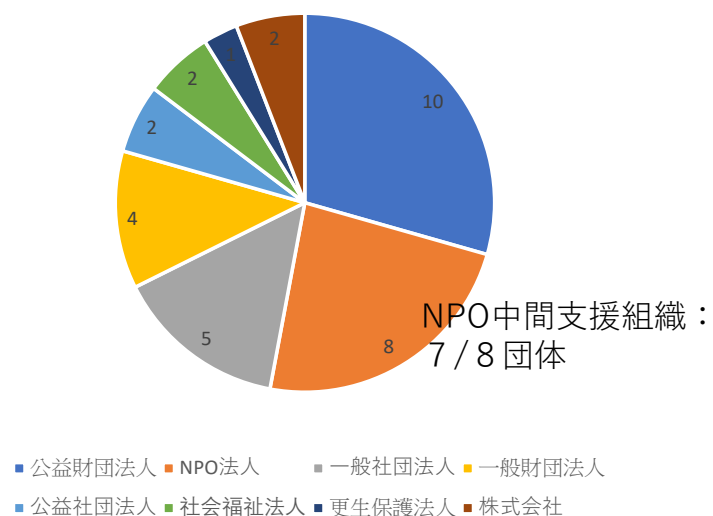
## ●公益財団法人が最も多い（約3割）

- ・ 単独申請、幹事団体：全体の29%、コンソーシアム構成団体：31%

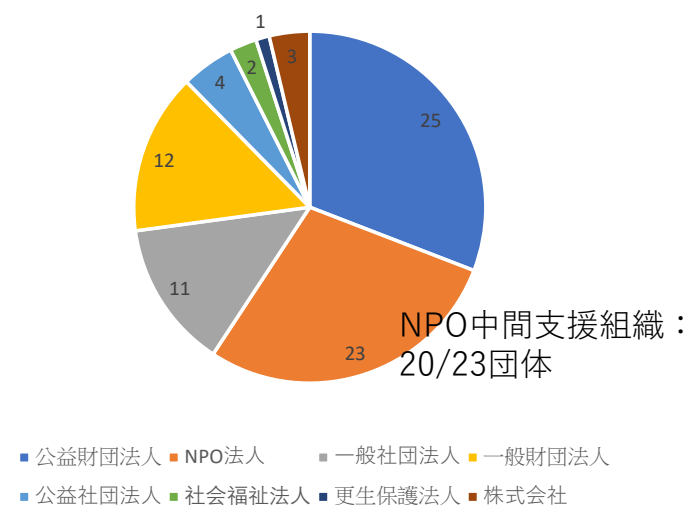
## ●NPO法人も多い

- ・ 全体の24%（コンソーシアム構成団体も含む場合：28%）
- ・ 制度参画のNPO合計31団体の内、27団体がNPO中間支援組織

単独、幹事団体のみ（合計34団体）



コンソーシアム構成団体（合計81団体）



# 実行団体の活動対象地域（自治体別）



- ・ **事業対象地域：空白・空白に近い地域（自治体）**
  - ・ 東北、北陸、四国などで事業が比較的少ない（県別事業数）
  - ・ 地方では、九州での助成事業が比較的多い
- ・ **自治体、中間支援組織等と連携した制度説明会等を開催**
- ・ **地域の課題解決の中核的団体であるコミュニティ財団、NPO 中間支援組織などの資金分配団体の確保と育成が課題**





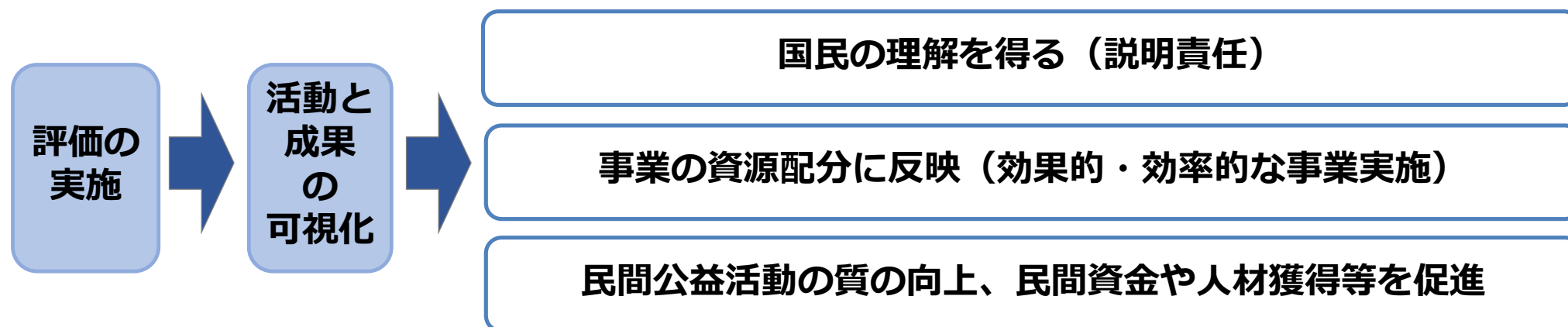
- 休眠預金制度の概要と制度の担う役割
- 変化（インパクト）を測る
- 九州地域にて

# 社会インパクト評価を制度化（資金分配団体・実行団体）



## ● 休眠預金活用における評価の意義・目的

休眠預金は国民の資産であり、その活用にあたっては、最終的に社会の諸課題の解決を図るという「成果」を国民に目に見える形で生み出すことが求められる



## ● 全ての団体の活動と成果を可視化

→ **社会インパクト評価**実施のための「**評価指針**」を策定（2019年7月）

# 社会的インパクト評価って？



## 「社会的インパクト評価」の定義

短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的な「変化」や「便益」等の「アウトカム(短期・中期・長期)」を定量的・定性的に把握し、当該事業や活動について価値判断を加える（評価を行う）こと（基本方針より抜粋）

### ◆「アウトプット」と「アウトカム」

|            |                              |
|------------|------------------------------|
| アウトプット（結果） | 事業の実施により生み出された「結果」           |
| アウトカム（成果）  | 事業の実施によるアウトプットがもたらす「便益」や「変化」 |

例) 子どもの居場所づくり事業の**イベント回数**

例) 子どもの居場所づくり事業で生まれた**子どもと地域のつながり**



# 休眠預金制度の社会的インパクト評価（アウトライン）



主な実施  
時期

## 選定時・事前評価

（主に事業計画段階）

## 中間評価 ～ 終了時

（事業実施中）

## 事業終了時 （事後評価）

（事業によっては終了から  
一定期間経過後にも実施）

### 課題の分析

（ニーズの分析）

- ・課題は何か？
- ・課題の規模や質は？
- ・課題が起こる原因は？
- ・対象者のニーズは何か？  
など

### 事業設計 の分析

（セオリーの分析）

- ・課題解決のための  
活動・取組は何か？
- ・アウトプット目標の設定は？
- ・想定される成果  
アウトカムは？
- ・どのような戦略で取り組むか？  
その妥当性は？  
など

### 実施状況 の分析

（プロセスの分析）

- ・計画通りに運用されたか？
- ・意図した通りに  
対象者に届いたか？
- ・アウトプット目標は  
達成されたか？  
など

### アウトカム の分析

- ・生まれた変化は何か？
- ・想定外の変化は何か？
- ・効率性は高かったか？  
など

事業報告  
・  
評価報告

+

必要に応じ  
追跡評価

（「社会インパクト評価  
指針、2019年6月」  
に基づく）

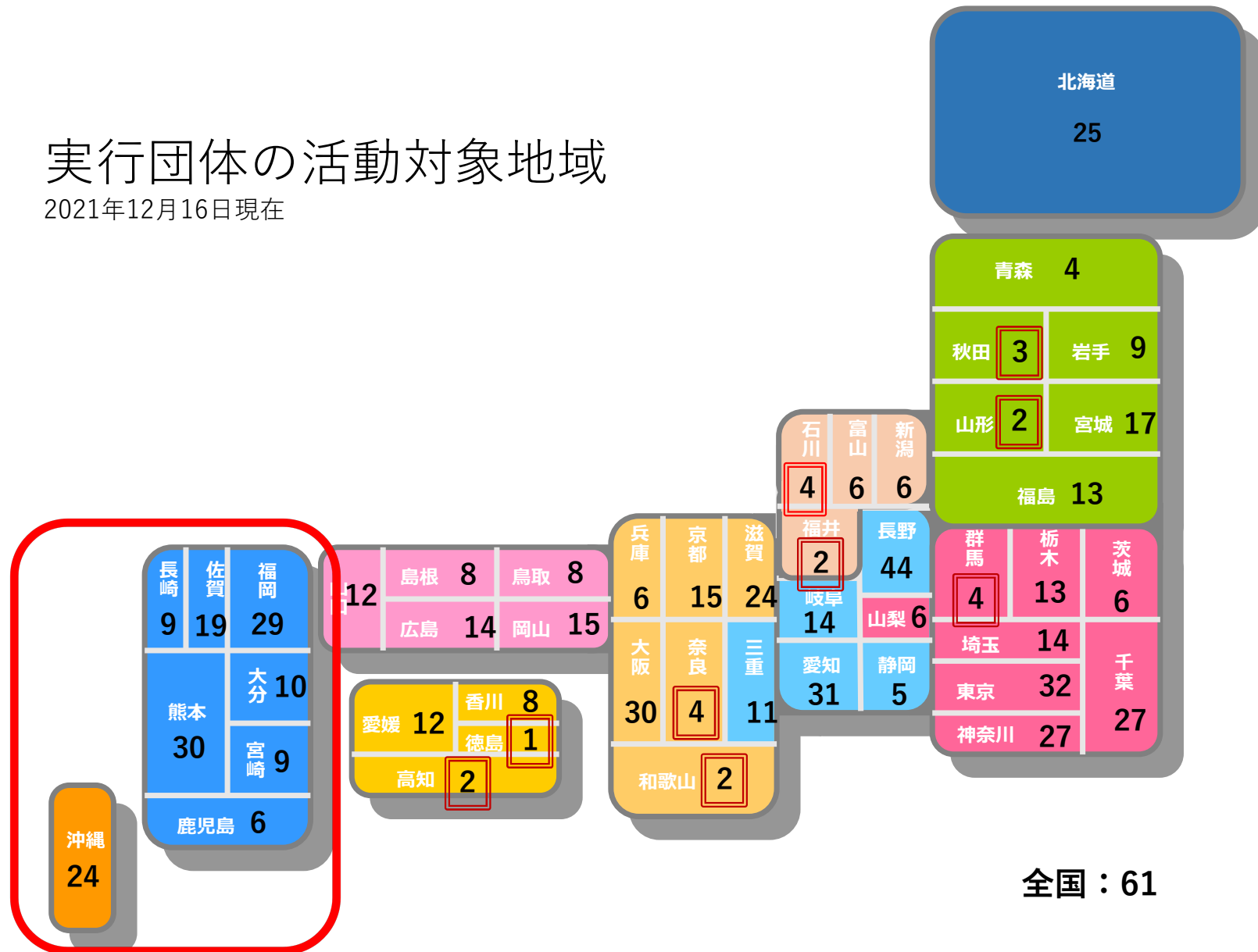
具体的な  
検証事項



- 休眠預金制度の概要と制度の担う役割
- 変化（インパクト）を測る
- 九州地域にて

# 実行団体の活動対象地域

2021年12月16日現在



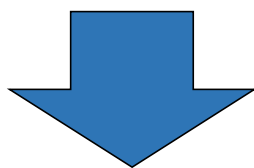
# 地域発「子ども若者+」の笑顔を生み出すために



|                                     |                                               |
|-------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 一般社団法人 SINKa                        | 福岡子ども若者、困窮者応援笑顔創造事業<br>【副題】いま動くしかない！居場所と出番づくり |
| NPO法人発達障がい者就労支援ゆあしっぷ<br>(福岡県春日市)    | 働くことが不安な人及びその家族のための支援事業                       |
| 特定非営利活動法人チャイルドケアセンター<br>(福岡県大野城市)   | リユースお弁当箱がつなぐ地域デザイン事業                          |
| NPO法人国際教育支援機構スマイリーフラワーズ<br>(福岡県福岡市) | 仕事里親ネットワーク構築事業                                |
| 一般社団法人umau.<br>(福岡県久留米市)            | じじっかファミリー                                     |
| 一般社団法人Kids Code Club<br>(福岡県福岡市)    | 生きる力を育む子どもの居場所づくり事業                           |
| 一般社団法人OMUTA BRIDGE<br>(福岡県大牟田市)     | 孤立させない！子どもが選択できる居場所                           |



- これまでの成果の持続・発展
- 連携、展開の広がり
- 地域の課題解決力向上、深化



他地域での教訓

**ご清聴ありがとうございました！**



# 休眠預金活用事業の情報をご活用ください！



## ●休眠預金活用事業の「今」をお届け！

<https://kyuminyokin.info/>

休眠預金活用事業サイト

Home

最新の投稿

離れていても、子どもたちと芸術を通じてつながりを生み出す～ミューズの夢～  
認定特定非営利活動法人 ミューズの夢 (以下、ミューズの夢) は、ハン…  
休眠預金活用事業サイト | 編集部 | 84 views  
2021/10/20 10:38

ランキング

1 離れていても、子どもたちと芸術を通じてつながりを生み出す…  
休眠預金活用事業サイト | 編集部

2 2021年度通常枠(第1回) 資金分配団体が発表されました

申請検討団体の皆さんにぜひご覧いただきたい先輩の声  
▼「資金分配団体インタビュー」

<https://kyuminyokin.info/interviews>

# 積極的な広報の推進～シンボルマークを活用した休眠預金活用事業の認知度向上

## ■ウェブサイトで



NPO法人  
ジャパン・プラットフォーム

## ■オンライン会議で



←公益財団法人B & G財団

## ■記者発表で



公益財団法人 オリオンビール奨学財団

## ■活動場面で



一般社団法人YOU MAKE IT

## ■制作物で



NPO法人  
沖縄県学童・保育支援センター



NPO法人ワーカーズコレクティブういず

## ■プレスリリースで



一般財団法人 社会革新推進財団

# 休眠預金活用事業の情報をご活用ください！



- 休眠預金活用事業の「今」をお届け！  
～SNSのフォローもよろしくお願いします～



JANPIAのFacebook

<https://www.facebook.com/JANPIA.or.jp/>



休眠預金活用事業サイトのTwitter

<https://twitter.com/kyuminyokin>

〈Twitter〉  
@kyuminyokin